

ブロフジョイント V-R型

縦目地用

はじめに

ブロフジョイントは、昭和37年に最初のモデルが発売されて以来、常に一貫として「伸縮継目部にも車輪圧に対する支圧強度をもたせ、道路面の一部として機能させる」という基本理念のもと設計、製作、施工され、各種橋梁、長大橋、斜橋などに使用されております。

今日の道路事情に対応するため橋梁の拡幅工事において、既設部と拡幅部に撓み量の差が生じる可能性があります。ブロフジョイントV-R型は既設部と拡幅部の段差を吸収できるように縦目地用として開発した伸縮装置です。

ブロフジョイントV-R型(縦目地用)の基本構造



※NETIS登録番号 KT-230293 橋梁用伸縮装置ブロフジョイント用接着剤

特長

1. 耐久性

桁の伸縮や段差は、ゴム製の伸縮パッキンのせん断変形によって吸収し、伸縮パッキンの下にある受台が荷重を支持するため耐久性に優れています。

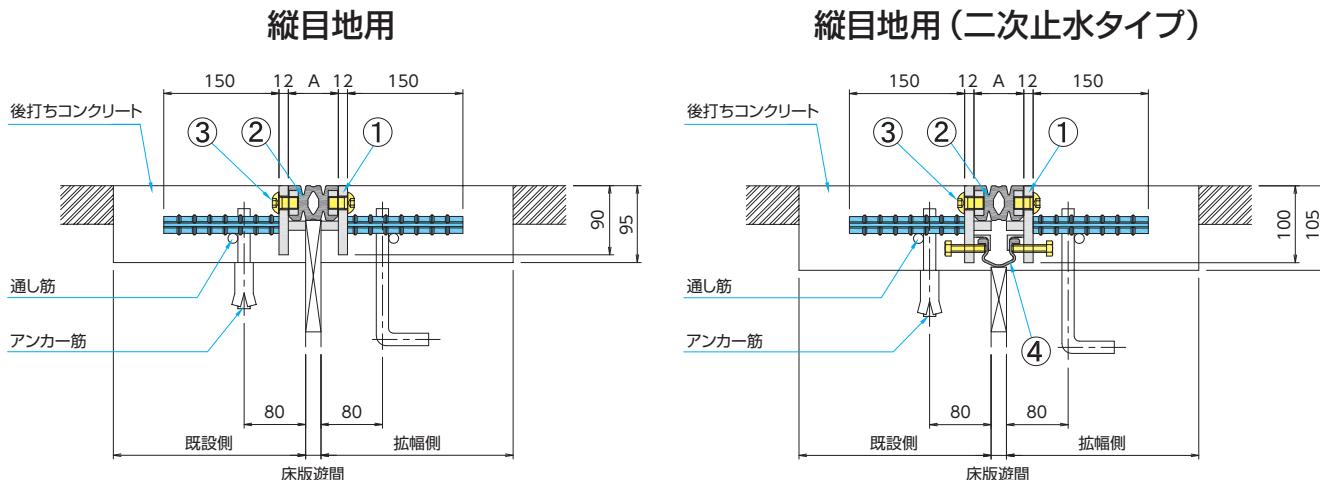
2. 止水性

止水凸条のついた伸縮パッキンをボルトで保持金物に緊締し、一体としているため止水性に優れています。

3. 施工性

簡単な構造で比較的軽量なため施工性に優れています。

■ 基本構造断面図



■ 標準寸法表

規格	許容伸縮量	許容段差量	A	重量(kg/1.8m)
V-R型-20用	20 (10)	10	52~72	58
V-R型-30用	30 (15)	15	62~92	59
V-R型-20用(二次止水タイプ)	20 (10)	10	52~72	66
V-R型-30用(二次止水タイプ)	30 (15)	15	62~92	69

※()内の許容伸縮量(せん断変形量)は、製品延長の都合により分割設置をした場合とする。

■ 標準仕様

No.	名称	材質
①	保持金物	SS400
②	ゴムパッキン	CR+SS400
③	六角穴付ボタンボルト	—
④	二次止水パッキン	CR

■ ゴムパッキンの物理的性質

項目	単位	規格値	試験値	試験方法
引張強さ	N/mm	15以上	19.9	引張試験 JIS K 6251
伸び	%	300以上	530	引張試験 JIS K 6251
硬さ	---	A55 ± 10	A 58	硬さ試験 JIS K 6253
引裂強さ	N/mm	30以上	60.5	引裂試験 JIS K 6252
老化試験	引張強さ変化率	%	20以下	空気加熱老化試験 JIS K 6257 (70°C × 96hr)
	伸び変化率	%	20以下	
	硬さ変化率	---	10以下	
圧縮永久ひずみ	%	25以下	10	圧縮永久ひずみ試験 JIS K 6262 (70°C × 24hr)

NEXCO構造物施工要領規格(H22)

※プロフジョイントに使用する鋼材は、JIS規格品を採用しています。

当社は伸縮装置施工も請け負います。お問い合わせください。

FTK 東京ファブリック工業

支店

札幌	盛岡	仙台	宇都宮	新潟	東京	横浜	名古屋
金沢	京都	大阪	高松	広島	福岡	鹿児島	



お問い合わせ

本店

〒163-0429 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル29階
URL : <https://www.tokyo-fabric.co.jp/>